



問 太陽光パネルの設置規制に係る条例の制定は

クリーンエネルギーには大賛成であり、あまり人目につかない場所にメガソーラーを設置し、エネルギーを賄う政策は進めるべきだが、近年、「風格ある県都」において、まちの景観を損ない、美しい田園風景を壊してしまう太陽光パネルが増えてきているがどうか。「風格ある県都」であれば太陽光パネルの設置規制に係る条例は既に制定されているべきだが、制定済みの自治体数は。

答 1,718市町村のうち184市町村(10.7%)が制定済みである

太陽光パネルに関し、令和3年度には42件の苦情があり、その内容は、パネルの反射光、パワーコンディショナーによる騒音、管理状況のほか、景観に対するものなどであった。「風格ある県都」ということを考えたときに、太陽光パネルが景観を乱していることは十分にあり得る。

太陽光パネルの設置規制に係る条例は、地方自治研究機構の調査結果によると、1,718市町村のうち現時点で184市町村(10.7%)が制定済みである。

近年、市街地や住宅に近い場所で太陽光パネルが設置されるケースが出てきており、引き続き、しっかりと考えていくべき問題だと思っている。

その他の質疑・質問

- 成人になってからの人生を大きく左右する乳幼児教育について
 - 非認知能力と認知能力について
- 津エアポートラインの減便について
 - コロナ禍前と現在の便数は
- 排水施設(ポンプ場)の役割について

▶ 市民ニーズに合った便数に戻すべく、津市として努力を



問 がん治療による外見の変化に悩む患者へ補正具購入費の助成を

昨今、がん治療を受けながら仕事をする人が増えている。抗がん剤等の影響による脱毛や、乳房切除等により、外見が変化した患者に対し、見た目を気にすることなく、社会参加の後押しとなるアピランスサポートが必要と考える。脱毛に対応する医療用ウィッグや乳房切除後の胸の形を整える人工乳房などは高額であるため、購入に対する助成制度を三重県初で設けてはどうか。

答 国や県などの動向を注視しつつ、本市の対応について研究する

がん治療による脱毛や乳房の喪失といった外見の変化は、治療による身体的な負担とともに、心理的に大きな負担になると考えられる。医療用ウィッグや人工乳房を着用することは、日常生活の質の向上につながり、心理的な負担を軽減するための一助になるものと認識している。

現在、これらの補正具購入費の助成については、国から制度の方針は示されておらず、県や県下の他市町においても、助成制度は設けられていない。

今後、国や県などの動向を注視しつつ、先行事例等も調査し、本市の対応について研究していく。

その他の質疑・質問

- 物価高騰等の影響を受けている方(子育て家庭・給食を提供する事業所等)への支援について
- 市民の健康を支える施策(がん・更年期障害)
- 民間保育所および民間事業所への支援について
- 保育園の使用済み紙おむつを市で回収の考えは
- 子宮頸がん予防ワクチンキャッチアップ接種事業について

▶ がん検診は、がんから自分を守る貴重な機会。逃さず受診を

